

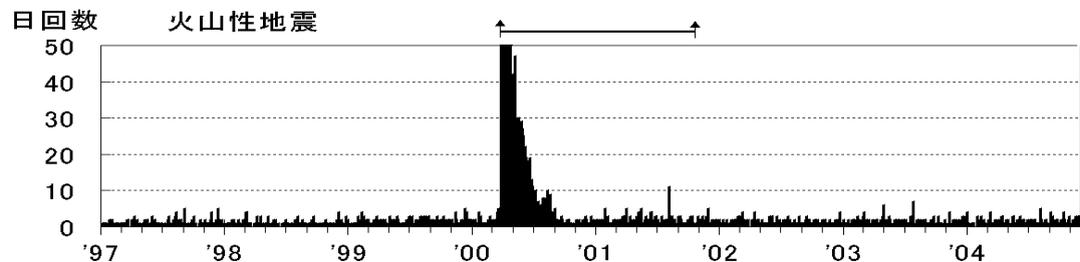
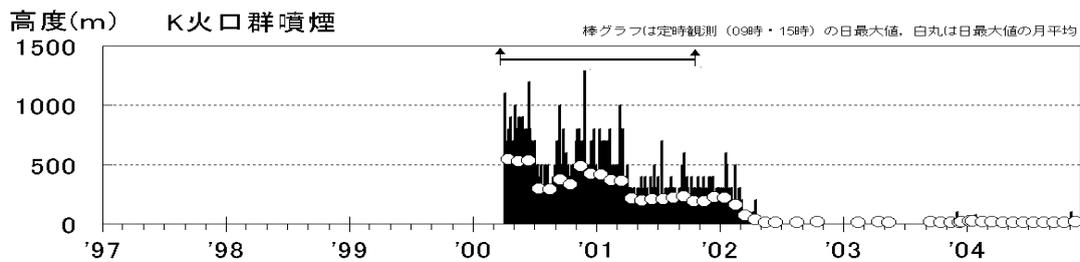
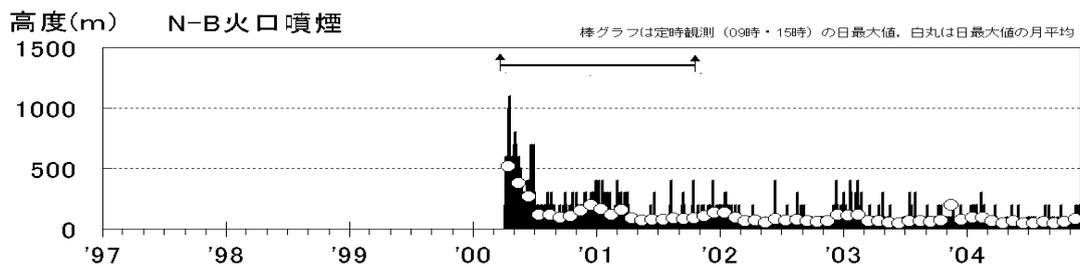
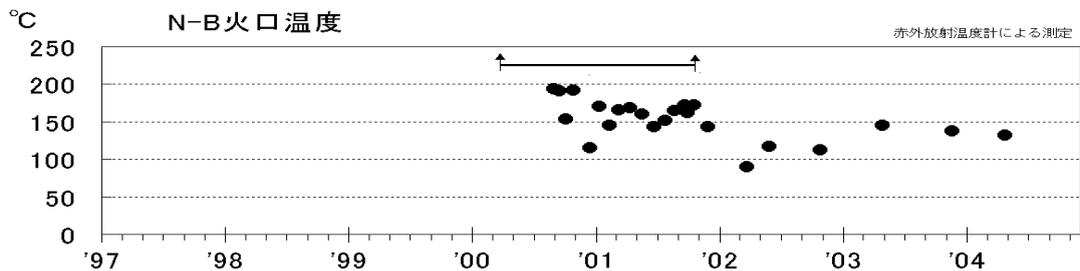
有珠山

1 概況

火山活動は静穏な状態が続いています。

2 噴煙の状況

西山西麓(N)火口群にあるN-B火口の噴煙は少ない状態が続いており、噴煙の高さは火口縁上おおむね100m以下で推移しました。金比羅山(K)火口群では、時折ごく弱い噴気が観測されました。その他、山頂火口原や昭和新山でも少量の噴煙が見られていますが、これまでと比べて特に変わった様子は認められません。



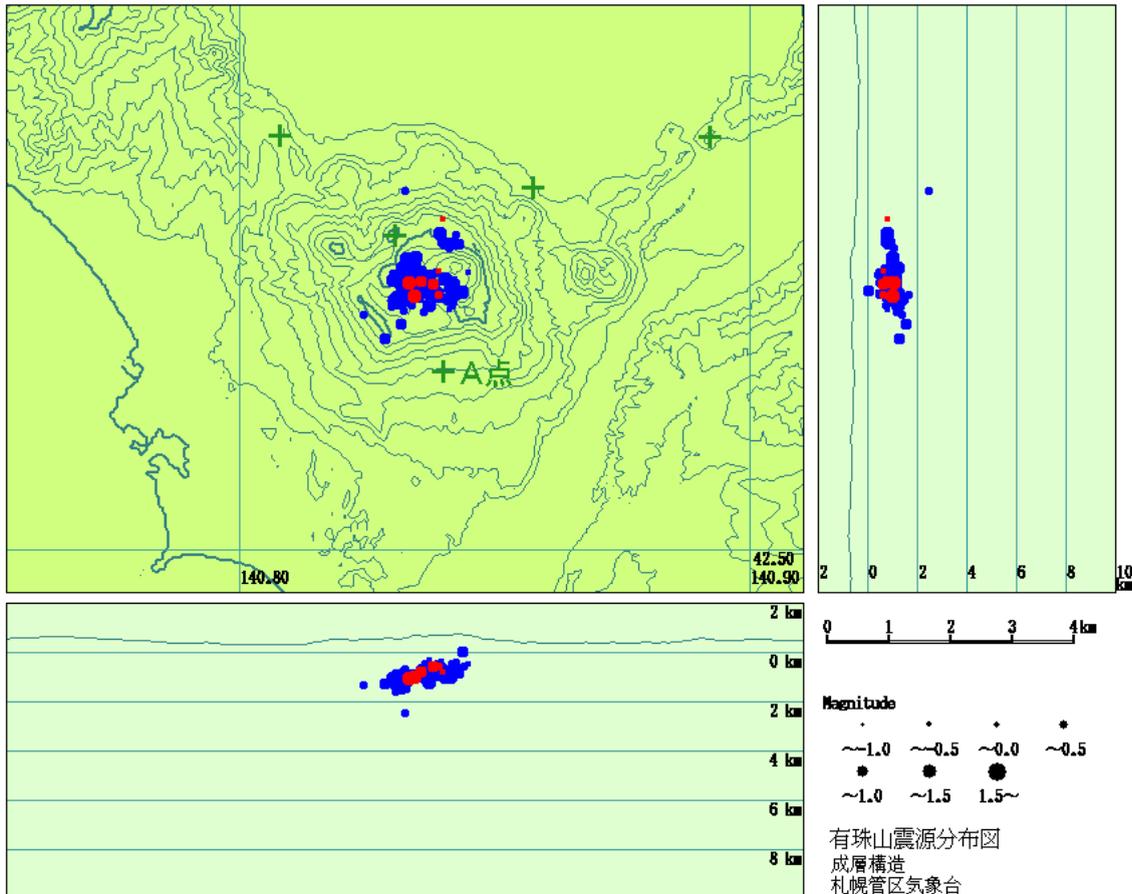
最近の火山活動経過図(1997年1月1日~2004年11月30日)
 で挟まれた期間は2000年噴火活動期

3 地震および微動の発生状況

今期間の火山性地震の回数は1日あたり0~3回と少ない状態で推移しました。火山性微動は観測されませんでした。

地震・微動の月回数(A点)

2003~2004年	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
地震回数	22	15	21	20	28	28	23	26	30	25	25	23
微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



有珠山の震源分布図(丸印:震源 +印:地震観測点)

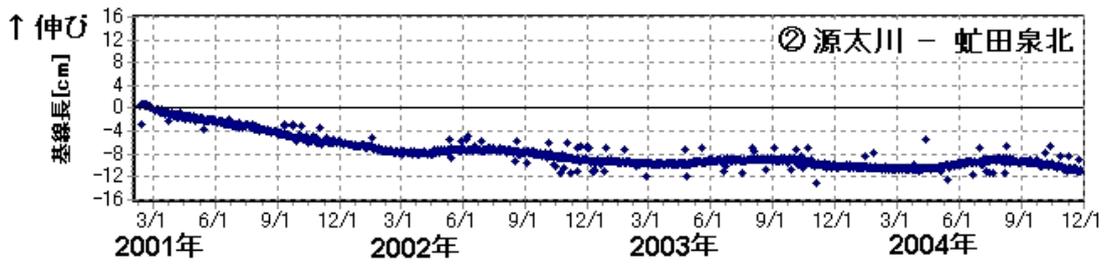
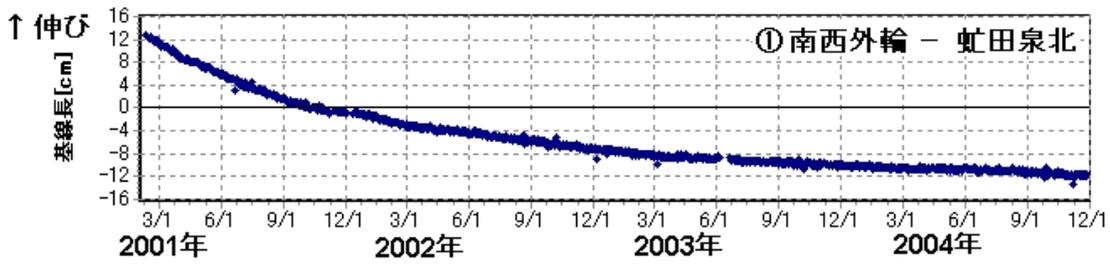
赤丸は今期間(2004年11月1日~30日)に求めた震源を示しています。

青丸は前期間までの11ヶ月間(2003年12月1日~2004年10月31日)に求めた震源を示しています。

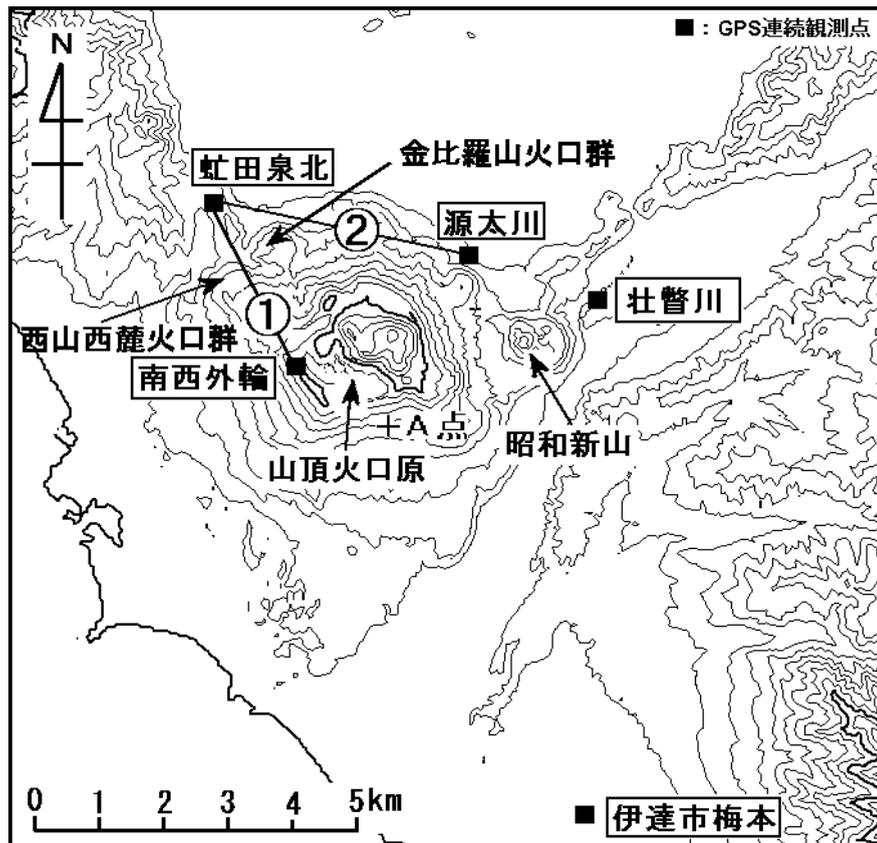
震源は山頂部直下の海拔下1km前後に集中しており、今期間の震源もこの領域内に分布しています。

4 地殻変動の状況

GPS 連続観測では、特段の変動は認められません。



基線長変化 (2001年2月9日~2004年11月30日)



5 調査観測の結果

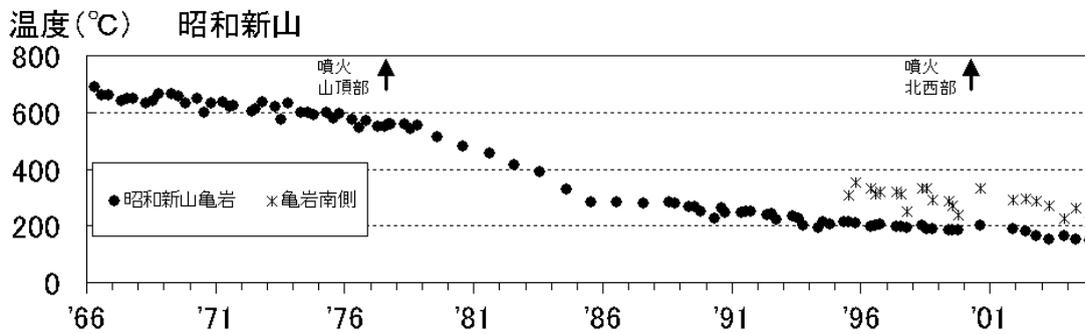
11月15、19日に調査観測を実施しました。

【昭和新山】

噴気温度は亀岩で約150、亀岩南側噴気帯で約210(前回:4月22日、それぞれ約150、約260)と高温を維持していますが、長期的にはやや低下傾向にあり、噴気の勢いも弱い状態です。



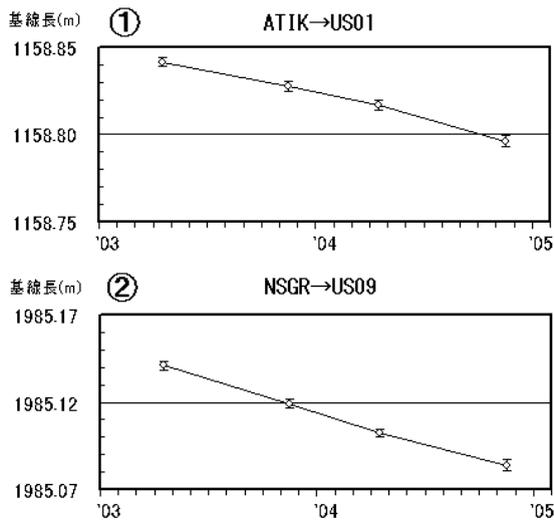
昭和新山亀岩の状況



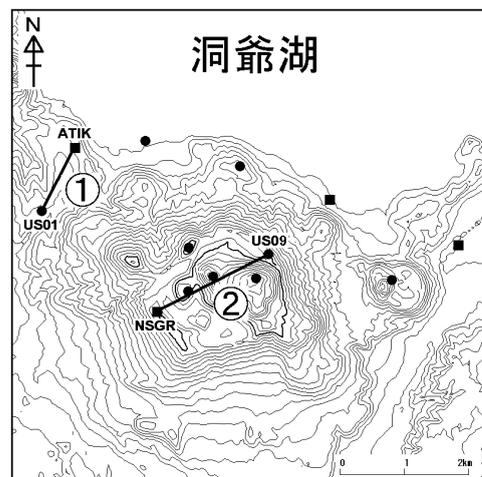
昭和新山の温度推移

【GPS 繰り返し観測】

GPS 繰り返し観測では、2000年の噴火活動域(西山付近)、山頂ドームを囲む基線では、これまでと同様な収縮の傾向が続いています。



西山付近および山頂ドームの基線長変化



G P S 繰り返し観測点配置